

九「カナダ」ニ於ケル本邦移民排斥關係一件 二〇九

首相ハ之ヲ肯定シタル上本官作製ノ小冊子余部アラバ政府  
部内ニ示ス為今少シ賞ヒ受ケ度シトノコトナリシニヨリ承  
諾シ置ケリ尚本官ノツ(脱)新立法ハ多分思ヒ止マル可ク  
又訓令中首相ノ立場ニ同情セル帝國政府ノ態度ニハ首相ニ  
於テ充分満足セルモノノ如シ將又首相ハ今後モ充分日本政  
府ト意思疏通ヲ図ル旨語ラレタルニ鑑ミ今後ノ措置ニ就テ  
ハ其ノ決定ヲ迫ラズ暫ク此ノ儘ニ置ク方適當ト存ズ  
貴電末段ニ関スル件比較数千九百八年ヨリ二十一年迄御電  
報アリタシ前掲訓令訳文ハ念ノ為郵送ス  
在晚香坡領事ヘ転電シ在英大使ヘ郵送セリ

二〇九 十二月二十六日

内田外務大臣ヨリ  
在オタワ太田総領事宛(電報)

カナダ渡航及帰国移民累年比較表電報ノ件

第二七号

貴電第七〇号末段ニ関シ比較統計左ノ通り

二六〇

渡航及帰国移民累年比較表(加奈陀)

年次	渡航(移民)	帰国(二等船客)
明治四十一年	七二八	三九三
四十二年	二七〇	四七三
四十三年	五四五	六二八
四十四年	八一八	六三二
大正元年	一、〇二八	五〇八
二年	一、二七〇	一、〇二六
三年	一、三〇六	一、二四四
四年	七七〇	一、二〇五
五年	一、〇五四	七九三
六年	一、二二六	一、八八一
七年	一、七八六	一、六五五
八年	一、八三五	一、八一七
九年	一、四二六	二、〇六九
十年	一、一六〇	一、四二七
合計	一五、二二二	一五、七五二

## 事項一〇「オーストラリア」移民関係雜纂

二一〇 一月五日

在シドニー鈴木総領事ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

北部開発ノ為有色労働者ヲ移入スヘシトノ南

濠洲首相発言ニ関シ報告ノ件

第四号

(一月六日接受)

「アデレード」通信ニ依レバ「サウス、オーストラリア」  
首相ハ「ノーザン、テリトリ」開發ニ関シ曰ク同州ハ種々  
有益ナル農産物ヲ栽培シ得ル地方ナルニ現今ノ儘放任シ置  
クハ遺憾ナリ開發ニ要スル有色労働者ノ輸入ニ当リテハ單  
ニ白人ノ使役ニ供スベキ苦力の契約労働者ヲ可トスルヤ若  
クハ市民権ヲ有セシムベキ精選セル亜細亞自由移民ヲ可ト  
スルヤト云フニ余ハ後者ヲ適當ト思考ス畢竟同地方ハ熱帯  
ニ属スルヲ以テ有色人種ノ居住開發ニ俟ツノ要アルコト一  
般ニ認識セラルルニ至ルベシト述ベタル由ナルガ昨今当地  
ニ於テ責任ノ地位ニ在ル者ヨリ斯ル議論ヲ聞クハ異トスル  
処ニシテ目下真偽取調中ナリ

一〇「オーストラリア」移民関係雜纂 二一〇 二一一

二一一 一月七日

在シドニー鈴木総領事ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

白濠主義ヲ攻撃セルスウイニング教授電報ニ関

連シ当地新聞論調報告ノ件

第五号

(一月七日接受)

往電第四号 South Australia 州ノ有色労働移入ニ関スル  
意見発表ト殆ンド同時ニ白濠主義ニ対スル Professor  
Twining ノ攻撃電報当地ニ到着シタル処右ニ関シ当地方  
各新聞ハ一斉ニ白濠主義弁護ノ論説ヲ掲ゲ居レルハ当然ノ  
コトナルガ右主義ノ実行上批難ヲ為セルモノナキニアラズ  
Telegraph ハ曰ク労働党ノ如ク有色人種ノミナラズ白人  
ノ移入ニ反対スルハ甚ダ不可ナリ同党ハ党是トシテ土地ノ  
独占ニ反対スルニ拘ハラズ僅少ノ人口ヲ以テ濠洲全体ヲ支  
配セントスルハ之甚ダシキ矛盾ナラズヤ且ツ濠洲ノ開發ハ  
吾人ノ天職ニシテ又世界ニ対スル徳義上ノ義務ナルニ人口  
ノ増加充分ナラザル現在ニ於テハ米國教授ノ攻撃モ亦無理

二六一

ナラズト論シ又 Herald へ同ジク白濠主義ハ濠洲ノ動カスベカラザル国是ナルモ吾人ハ今ヤ濠洲以外ニ有色人種トノ關係シシ褐色の領土ヲ有スルニ至レルニアラズヤトテ白濠主義ハ濠洲本土以外ニ行フベカラザルヲ諷シ且ツ Papua 土人ヲ濠洲北部地方ニ移入セルノ良策ナルヲ論シ居ルガ如キ注目ニ値ス

二二二 一月十四日 在シドニー鈴木総領事ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

有色労働者移入ニ関スル南濠洲首相発言ノ反響報告ノ件

第九号 (一月十五日接受)

往電第四号ニ関シ

各地来電ヲ綜合スルニ聯邦政府内務大臣代理「クインズランド」首相及在倫敦濠洲代表者 Shepherd ハ北部地方ニ於ケル有色労働輸入ニ極力反対ノ意見ヲ發表シ種々ノ方面ヨリ Barwell (南濠洲首相) ノ説ヲ攻撃シタルガ之ニ対シ該首相ハ重ねテ熱帯地方ノ開拓ハ是非共有色人種ノ力ニ俟タザル可ラズ天然ノ富源ヲ開發スルハ吾人ノ世界ニ対スル義務ナルニ白濠主義ノ為之ヲ阻害セラルルハ甚ダ遺憾ナ

大正十一年一月二十三日

在シドニー

総領事 鈴木 栄作 (印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

濠洲 Northern Territory へ有色労働者

移入ニ関スル件

South Australia 首相「バーウエル」氏 (Hon. H. N. Barwell) へ去ル本月五日「アデレード」ニ於テ「ノーザン」テリトリー」地方ノ開拓ハ結局有色労働者ヲ該地方ニ輸入スルノ方法ニ俟タサルヘカラサル旨ヲ同地新聞紙上ニ公表シタル趣ハ往電第四号及第九号電報ノ通ニ有之候処之ト恰モ同時ニ紐育ニ於テ Prof. Thwing ノ白濠主義ニ對スル攻撃論及之ニ對スル華府會議濠洲代表 Senator Pearce ノ反駁当地ニ着電アリタルヨリ本件ハ一層議論ノ焦点トナリ爾来今日ニ至ル迄甲論乙駁ノ状態ニ有之候

今左ニ御参考迄ニ其ノ賛否ニ関スル主要ノ点ヲ報告スルニ先チ今首相カ其ノ地位上ヨリシテ寧ロ意外ノ公言ヲナスニ至レル動機ニ付考フルニ由来当地方ニ於テハ政治上ノ意見ハ常ニ忌憚ナク之ヲ吐露シ聊カモ遠慮セサル所謂濠洲氣質

ラズヤ有色労働ノ移入ハ何等憂フベキ事件ヲ醸成スルモノニ非ズト力説セリ

在倫敦南濠洲代表者 Edward Lucas 亦 Shepherd ノ説ヲ反駁シ白濠主義ハ濠洲ノ輿論ヲ代表スルモノト言ヒ難シ北部地方ニ有色労働ノ輸入問題ハ殊ニ納稅者ノ間ニ論議セラレ之ニ賛成スルモノ尠カラズト述ベタルガ今当地ノ実況ヲ察スルニ敢テ自ラ白濠主義ニ反対ノ意見ヲ標榜スルモノコソ無ケレ有色労働ノ利益ヲ是認シ唯人種の内訌ヲ惹起セザル様之ヲ一部地方ニ局限スベントノ説モナキニ非ルヲ以テ右 Barwell ノ發表ハ白濠主義攻撃ニ對スル好個ノ機会ヲ造リタルモノナルガ目下ノ尠未ダ一部ノ言論ニ止リ一般ノ趨勢ヨリスレバ果シテ今後多少ニテモ具体化スルヤ否ヤハ疑問トセザルヲ得ズ尠未ダ何等政党的政策ト關連スルモノトハ思ハレズ

二二三 一月二十三日 在シドニー鈴木総領事ヨリ  
内田外務大臣宛

有色労働者移入ニ関スル南濠洲首相発言ニ對スル当国官民ノ反応及之ガ観測報告ノ件

公第二〇号 (二月二十五日接受)

ナルモノアリ其ノ持論ハ時ト場合ヲ論セス又上長同僚ノ感觸如何ニ関セス卒直ニ表明スルノ習慣ナル処白濠主義ニ對シテハ党派ノ區別無ク之ヲ以テ濠洲ノ国是ナリト認メ之ニ對シ聊カモ攻撃ヲ加フルヲ敢テセス労働党ノ勢力強大ナル今日内心不平ヲ抱クモ表面露骨ナル論議ヲ試ムルモノ甚タ稀ナル事実ニ徴シ或ル一部ノ者ハ同首相カ其ノ政治上ノ地位上不利ト知リツツ斯ル举措ニ出テタルハ必スヤ資本家側ノ教唆ニ基クモノニシテ或ハ利己ニ余念ナキ彼等ハ国家永遠ノ利害ヲ顧ミス之ヲ以テ一攫千金ノ具ニ供セントスルモノナリト云ヒ或ハ又恰モ同首相カ反労働党側ニ屬スル關係ヨリ有色労働移入ノ声ヲ大ニシ以テ近年ノ不景氣ニ依リ激成セラレントスル労働者側ノ同盟休業等資本家側ニ對スル反抗ヲ恐嚇鎮圧セントスルノ魂胆ヲ有スルモノトナスモノアリ臆測トシテハ巧妙ナルモ聞ク所ニ依レハ同首相ハ常ニ北部地方ニ於ケル殖産興業ニ留意シ白人労働者ノ此等地方ニ永住スルノ不可能ナルヲ堅ク信シ居レル趣ナルノミナラス今回問題トナリタル其ノ言論カ高所ヨリ立論シ一党派又ハ資本労働ト云フカ如キ偏狹ナル策略ニ触レ居ラサル点ヨリスルトキハ斯ル推定ハ恐ラク失当ノ所見ナルヘシト思

ハレサルニ非ス這ハ素ヨリ後日ノ進展ニ徴スルノ外無キモ問題ノ近因トナリタルハ W.A. Horn 氏ノ「アデレード」Register 紙ニ寄セタル一片ノ通信ナリトス(同氏ハ元 South Australia 州議會ノ下院議員ニシテ且下倫敦ニ在リ)其ノ要旨ニ曰ク、北部地方ハ有色労働ノ移入ヲ必要トスルノ理由アリ宜シク南緯二十度以北ノ地方ヲ開放シ亜細亞労働者ノ自由入国ヲ許可スヘク但シ此等労働者ハ所謂苦力労働ニ限り土地ノ所有權其ノ他ノ特權ヲ有セシメス又ハ開拓ニ必要ナル商業以外關係セシムヘカラスト論シタルカ此ノ寄書一度同紙上ニ表ハルルヤ Barwell 氏ハ之ニ関スル其ノ意見トシテ述ヘテ曰ク(Register 紙所載)

(前略)余ノ見聞ヲ以テスルニ「ノーザン、テリトリー」ハ有色労働者ニ依ルニ非サレハ充分ナル發達ヲ期シ難シ蓋シ同地方ハ熱帯圏内ニ在リ之カ開發亦熱帶式ニ依ラサルヘカラサレハナリ其ノ産物トシテハ米砂糖茶珈琲綿煙草玉蜀黍等アリ有利ニ之ヲ栽培シ得ヘキニ係ハラス現在ノ如ク荒廢ノ儘放任シ置クハ甚タ遺憾トスル所ニシテ云ハハ同地方ハ厄介物視セラレ居ルニ非サルカ扱右ノ如ク有色労働ノ必要アリトセハ問題ハ契約労働者ヲ移入シ苦力トシテ単ニ白

人ノ使役ニ供スルカ或ハ選抜セル亜細亞労働者ヲ移入シ之ニ市民權ヲ与ヘテ定住セシムルカニ在ルモ余ノ見ル所ヲ以テスルニ第二ノ方法ニ依ルノ外ナシ(中略)吾人ハ一日モ速ニ「ノーザン、テリトリー」ノ将来ニ関スル諸問題ヲ解決シ此ノ豊饒廣大ナル富源ヲ開發セサルヘカラサルカ余ハ之カ実行ニ當リテハ有色労働者ヲ措キ此等地方ニ定住シ且開墾事業ヲ完全ニ遂行シ得ルモノナキヲ一般ニ知覚スルニ至ルヘキヲ確信ス

ト最モ明白ニ其ノ所信ヲ表明シタリ其ノ論旨白濠主義ニ対スル正面攻撃ニ外ナラサルノミナラス州首相ノ言明ヨリ一段ノ重ヲ加ヘ囂囂タル議論ヲ惹起シタルニ至リタルコト前述ノ如クナルカ之ニ對抗シ聯邦政府内務大臣代理 *Senator Mr. Earle* ハ国防其ノ他ノ点ヨリ之ヲ攻撃シ

「サウス、オーストラリア」首相ノ説ハ本問題ノ一面ヲ見タルニ止マルノミナルカ有色労働ノ移入ハシカク容易ノモノニ非ス仮リニ同氏ノ言フカ如ク精選セル亜細亞人ヲ移入スルトセンカ彼等トシテ相当ノ知識ヲ備フル以上一地ニ閉居セシメ又ハ限定的ノ權限ヲ与フルノミニテ果シテ苦情ナキヲ得ルヤ又其ノ監督上多大ノ警察力ヲ要スルノ結果ヲ生

スヘキカ要スルニ斯ル事態ハ徒ラニ濠洲人ニ対シ惡感ヲ挑發スルニ終ランノミ……中略……試ミニ濠洲ニ対シ攻撃ヲ加フルモノアル場合ヲ想像セヨ此等不平分子ノ存在ハ如何ナル影響ヲ生スヘキヤ

又「クウィンスランド」首相 *Theodore 氏* (労働党)ハ同様有色労働ノ移入ニ反対シ曰ク、之レ非愛國的言論ナリ……濠洲ハ数年ナラスシテ亜細亞人ノ手ニ歸セン……北部地方ニ白人ノ居住不可能ナル事無シ現ニ「クウィンスランド」ニハ数千ノ白人労働者アリ中ニハ既ニ三代ヲ經過セルモノアルモ其ノ体力決シテ劣等ナラス宜シク「ノーザン、テリトリー」ヲ「クウィンスランド」ニ併合スルカ或ハ別ニ兩州ノ一部ヲ一体トシ一州ヲ創設シ白人労働ヲ移入セシムヘシ

ト主張シタルカ之ト同時ニ在倫敦濠洲代表 (*Mr. M. J. Shepherd*) ハ本問題ハ地方的ノモノニシテ決シテ白濠主義ヲ動かスニ足ラス白濠主義ハ濠洲人ノ確固タル自覺ニ基キタル不變ノ國是タリ現政府亦聊カタリトモ之ヲ變更スヘシトハ想像タモ及ハス現ニ「ヒューズ」総理大臣ハ之ヲ以テ其ノ政策ノ一大綱目トナセルニ非スヤ

トノ論旨ヲ倫敦「タイムズ」ニ寄セ極力有色労働移入説ヲ否認スル所アリタリ然ルニ *Barwell 氏* ハ確ク其ノ持説ヲ執テ動かス再ヒ *Register* 紙上ニ於テ之カ反駁ヲ試ミ白人ノ熱帯圏内ニ永住ノ不可能ナル事實有色労働ノ地方的制限ノ困難ニ非サル理由ヲ細説スル所アリタル後

「ノーザン、テリトリー」ノ如キ廣大豊沃ナル地積ノ所有者トシテ吾人ハ其ノ正当ノ權利ヲ立証セサル可ラス立証ノ方法ハ他ナシ之カ開發ヲ行フニ在リ之レ吾人ノ義務ナルニ今其ノ現状ヲ見ルニ同地方ニ於ケル白人人口ハ数十年前ニ比シ寧ろ減少シタルコト及豊饒ナル部分ハ比較的海岸ニ近キ交通困難ナラサル地方ニ存在スルニ拘ラス開發セラレ居ラサル事實ハ果シテ吾人ノ權利ヲ正当ニ説明シ得ルモノナリヤ之畢竟白濠主義ノ障害アルニ因ル吾人ハ白濠主義ノ立派ナル理想タルヲ是認スト雖モ斯ル廣大ナル地域ノ開拓ニ有害ナルニ於テハ其ノ永続ヲ承認スル能ハス場合ニヨリテハ本意乍ラ之ヨリ脱出セサルヘカラザルニ至ランコトヲ憂フルモノナリ余ハ断ス若シ「ノーザン、テリトリー」ニシテ白濠主義ノ為永ク其ノ發展ヲ阻害セラルルニ於テハ一必ス其ノ然ルヘキヲ信ス—白濠主義ハ多少ノ變更ヲ生セサ

ルヲ得サルヘク是レ只時ノ問題ナルノミ(後略)

ト益々白濠主義ニ対スル攻撃ノ度ヲ高メタリ  
本問題ニ関シテハ之ヲ幾多ノ方面ヨリ研究セサルヘカラサルカ就中最モ重要ナルハ事実上及政略上ノ見地ニシテ目下盛ニ論議セラレ居ルハ主トシテ白人ハ果シテ「ノーザン、テリトリ」ニ永住シ労働ニ従事シ能ハサルカ其ノ子孫ハ体力健康上退化スル事ナキヤ又婦女子ノ居住ハ可能ナリヤノ諸点ニ在リ一九〇五年當時ノ総督タリシ Sir George Le Hunte カ実地視察ノ上聯邦政府ニ致シタル報告中労働問題ニ関スル一節ニ依レハ「ノーザン、テリトリ」ニ於ケル労働ハ安価ニシテ供給潤沢ナル事及或ル程度ノ熟練ヲ要ス蓋シ熱帯産物ハ他外国ニ於テ安価ナル労働ニ依リ生産セラレタルモノト競争スルノ必要アリ又労働供給潤沢ナルヲ要スルハ之熱帯産業永續ノ為ニシテ之ニ伴ヒ多少ノ熟練アルニ非サレハ市価ノ点ニ於テ甚タ不利ナル理由アレハナリ之レ熱帯労働ノミ要件ナルカ就中熱帯ノ作業ニ耐ヘ且ツ熱帯農業ニ適切ナル安価労働ノ必要ハ苟モ「ノーザン、テリトリ」ヲ知ルモノノ悉ク是認スル所ニシテ之無クシテ同地方ノ有利ナル開拓ハ期シテ求ムヘカラス即チ有色労働

ノ移入ハ絶対必須ノモノナリ然ルニ濠洲政府当局中之レニ反対ノ意見ヲ有スルモノアルハ甚タ奇トスル所ニシテ畢竟同地方ニ関スル多大ノ誤解存在スルヲ感セシムト述ヘ更ニ有色労働移入ニ反対スル主要ナル論点ニ付論評シテ曰ク

第一、白人人種ニ対スル混血ノ危険云々ニ関シ反対論者ハ米國ノ例ヲ引クモノアルモ濠洲ハ全然別個ノ關係ニ在リ決シテ同一視スヘカラス米國黑人ハ素ト亞弗利加ヨリ之ニ移入シタルモノニシテ純然タル個人私有ノ奴隸タリ其ノ境遇及社会上ノ地位ヨリ不道德ニ陥リ易キモ一般社会亦斯ル制度ニ対シ反対ノ制裁ヲ加ヘサリシ結果多数ノ混血児ヲ生シタルモノニシテ西印度諸島ニ於テモ亦然リトス然レ共大局ヨリ見テ白黒人ノ混同ト云フヘカラス況ンヤ健全ナル思想性癖ヲ有スル濠洲ニ於テハ斯ル危険ヲ生スヘント思ハレス  
第二、契約ニ依ル有色労働ノ制度ハ所謂合法的奴隸制度ヲ設定スルモノナリトノ反対論ハ嘗テ英國ニ於テ南亞弗利加ノ鉱山採掘ニ支那契約労働ヲ使用シタル際取リタルモノナルカ英領各地ニ於ケル契約労働ノ実況ニ見ルニ其ノ契約ノ内容即チ労働者ノ衣食住監督其ノ他契約終了後ニ於ケル在留又ハ帰國等ノ寛大ナル規定ヲ檢スルトキハ果シテ此奴隸

的臭味ヲ有スルモノト云ヒ得ヘキヤ若シ然リトセハ之制度ノ罪ニ非スシテ之カ実行ニ任スル当局者ノ失政ニ在ランノ  
第三ノ反対ハ白人労働ニ対スル不公平ナル競争云々ナルカ今「ノーザン、テリトリ」ノ現状ヲ見ルニ有色労働ノ移入ニ依リ之カ競争ヲ受クヘシト称スルニ足ルヘキ數ノ白人労働アリヤ又將來スル状態ヲ現出スヘキヤ賃金ニ付テ云フモ高価ナル白人労働ヲ使用シ他外国ノ安価ナル労働ニ依ル熱帯産物市場ニ於テ之ト競争ニ耐フヘキヤ又新ナル有益農業ハ適當ノ期間奨励金ヲ与ヘ之ヲ保護スヘキコトハ相當ノ理由ナキニ非サルモ永久スル保護金ヲ受クルニ非サレハ成立維持シ難キモノハ果シテ之ヲ保護スルノ価値アリヤ若シ無シトセハ多数ノ白人労働ヲ移入スルノ途アリトモ思ハレス総テ此等ノ諸問題ハ労働競争ノ有無ヲ決定スル前研究ヲ要スル事項ナルカ從來ノ經驗ニ依ルニ斯ル状態ニ於テ有色労働ノ白人労働ニ対スル競争ハ殆ント無之ト断シテ可ナルノミナラス却テ有色労働移入ハ其ノ監督又ハ腦力ヲ要スル工程ニ於テ白人ニ職業ヲ与フルノ機会ヲ作ルモノト云フヘシ現ニ「フィジー」ニ於ケル精糖事業ニ付テ見ルニ契約勞

働タル印度人ヲ驅逐センカ本業ニ依リ衣食スル多數ノ失業白人ヲ如何セントスルカ要スルニ濠洲人ノ誇トスル純血労働ノ公平ナル競争及契約労働ノ如キ奴隸的臭味ニ対スル反感ハ世人ノ同感ニ値スト雖モ前述ノ如ク決シテ憂フルニ足ラス且熱帯ノ開拓ハ白人ノ能クスル所ニ非ラス宜シク契約ニ依ル有色労働ヲ移入シ其ノ待遇監督制限ニ適當ナル規定ヲ設ケ此ノ廣大ナル沃土ヲ開拓スヘキナリト  
又「ノーザン、テリトリ」ニ於ケル聯邦政府醫務局長トシテ同地方ニ居住セシコトアル Dr. Herbert Basedow

ハ Register 紙上ニ書ヲ寄セテ曰ク本問題ハ常識經驗及科学ノ範圍ニ屬ス十年前政府当局ハ必ス白濠主義ノ成功スヘキヲ公言シタルカ今ヤ事實ハ其ノ正反対ノ方向ニ向ヘントス之吾人覺醒ノ時ナラスヤ今本問題ヲ政治的白濠主義及經濟的有色濠洲主義ノ二方面ヨリ見ルニ若シ前者ヲ採ラハ結局今日ノ儘放任ノ外ナシ自己ノ經驗ニ依ル同地方ノ衛生狀況ハ乾燥冷涼ノ候ニ於ケル旅行者ハ之ヲ以テ白人ノ居住ニ適スト誤断スヘキモ湿氣アル北方ノ空氣ハ暫時ニシテ温帶地産ノ人体ニ非常ノ障害ヲ生スヘキ医学上ノ理由アルハ何人モ知ル所ナリトテ科学的ニ立証シ同地方ニ於テハ「マラ

リア」又ハ睡眠病ノ如キ危険ナルモノハ多シト云フ能ハサルモ白人労働者ハ一二年ノ後必ス神経衰弱ニ陥リ強健ナルモノハ酒精ノ力ヲ假リ一時ヲ凌キ得ルモ終ニ永続セス虚弱ナルモノニ至リテハ不幸ニシテ其ノ犠牲ニ終ランノミ開拓事業ハ先ツ熱帯産ノ有色労働移住ヲ第一義トシ之ニ関係ノ白人ノ健康ヲ保ツ為交通ノ便ヲ開クニ在リ濠洲土人ハ今尚相当ノ数アリ牧場等ニ於テハ其ノ有效ナルヲ認メ居ル今日大規模ニ之カ使用ノ法ヲ講スヘキナリト

右ハ有色労働移入ニ関スル有力ナル議論ト認ムヘキモノナルカ之ニ反シ白濠主義者ハ政治的方面ヨリ之ヲ反駁シ其ノ要ニ曰ク「サウス、オーストラリア」州首相ノ言ニ從ヘハ北部地方ハ有色労働ノ力ニ依ルニ非サレハ到底開拓ノ見込ナキカ如ク見ユ吾人ハ同首相ノ云フカ如ク假リニ有色労働ニ依リ或ル程度ノ成果ヲ齎シ得ルトスルモ這ハ政治的意味ニ於テ甚タ不可ナリト云ヘン蓋シ単ニ財政經濟上ノ見地ヨリスル解決ハ偏狹ニシテ採ルニ足ラサレハナリ況ンヤ成功ノ目算殆ト無之ニ於テオヤ吾人ハ白濠主義ヲスル無謀ナル計画ノ犠牲タラシムル能ハス有色労働ノ移入ニ依リ政治上ノ紛糾ヲ来サンヨリ不毛ノ地ハ寧ロ永久之ヲ「ホワイト、

ヨリスルモ「ノーザン、テリトリ」ハ不毛ノ地ナリ聯邦政府ノ管轄ニ歸シテヨリ各種農業ニ付試験的ノ耕作ヲ行ヒタルモノモ成功シタルモノナシ先年「ヴェストレー」会社カ肉類ノ冷蔵ヲ同地ニ於テ企テタル際世人ハ同会社ノ如キ確實ナルモノカ新ニ企業ヲ起スヲ見テ再ヒ「ノーザン、テリトリ」ヲ有望視シタルモ瞬間ニシテ同会社ハ今ヤ起ツ能ハサルノ悲境ニ陥レリ之労働ノ問題ニ非ス会社経営ノ不熟練ヨリ来リタルニ非スシテ一ニ同地方ノ生産力ヲ過視シタルノ結果ニ外ナラス唯一ノ希望ハ之ヲ牧場トナスヨリ外無キモ雨量ノ關係上果シテ成功スルヤ否ヤハ疑問トスル所ナリト論結セリ

以上ハ Barwell 首相カ有色労働移入ニ関スル意見ヲ發表シタル以來濠洲各地ニ於テ官辺及民間ニ於ケル論議ノ大要ナルカ抑モ「ノーザン、テリトリ」カ濠洲聯邦政府ノ管轄ニ歸シタルハ今ヨリ約十一年前ノ事ニシテ當時同地方ノ状態ハ只僅少ノ白人ト多少ノ土人ト之ニ居住シ交通ノ機關トシテハ僅ニ「ダーウィン」ヨリ少許ノ鉄道アルノミニ止リ其ノ經濟又ハ地理的ノ必要事項ニ付テハ知ラレタル所無カリシカ世人ハ聯邦政府ニ多大ノ期待ヲ有シ其ノ将来ノ発

エレファント」トシテ見ルニ如カス由來濠洲ハ「デモクラシー」ノ国ナリ有色労働ヲ移入シ只牛馬ノ如ク之ヲ酷使スルノミニテ何等市民権ヲ与ヘス又旅行移住ノ權利ヲ認メス最モ重要ナル政治上ノ資格ヲモ附与スル事無キカ如キハ自由労働ノ根本觀念ニ反スルノミナラス此等労働者ニ依リ一時の物質上ノ利益ヲ受クル場合アリトモ濠洲全体ニ及ホス国民的精神上ノ損失ニ至リテハ拳ケテ数フヘカラサルナリ吾人ハ今ヤ世界各國ト共ニ「デモクラシー」ノ途ニ進マントス印度支那ノ覺醒日本ノ勃興等決シテ等閑ニ附スル能ハス益之ヲ援助シ益其ノ進展ヲ希望スルモノナルニ此等國民ヲ奴隸の境遇ニ於テ使役シ独リ自ラ利セントスルカ如キハ畜ニ正義ノ觀念ニ於テ不可ナルニ止マラス对手國亦之ヲ固ヨリ承認セサルヘシ(多少揶揄的ノ意ヲ有ス)ト

又曰ク混血ハ有色労働ノ移入ニ伴フ避クヘカラサルモノタリ之カ国防ニ及ホス影響如何北部地方ハ現今交通ノ便甚タ不備ニシテ經濟上鉄道ノ開通ハ甚タ望マシキ事乍ラ政治国防ノ意味ニ於テ尚一層ノ必要アリ然ルニ今後幾年ヲ経テ竣成ノ見込モ確カナラサルスル交通不便ノ状態ニ於テ有色人ヲ移入スルハ決シテ安全ト称スヘカラスト論シ更ニ事實上

展ヲ囑望シタルニ今日迄注目ニ値スル進展ヲ示サス各種ノ調査モ亦依然見ルニ足ルヘキモノナシ尤モ其ノ間政府ノ命ニ依リ又ハ民間有志ノ企画ニヨリ屢々視察員等ノ派遣セラレタルモノアリタルモ広漠タル無人ノ境ニ深く進入シ各方面ニ亘リ詳細ノ調査ヲ実行スルハ小規模ノ視察団等ノ能クスル所ニ非ス從テ其ノ視察報告ナルモノハ從來一小局部又ハ調査事項ノ一面ニ限ラレタルハ怪ムニ足ラサル所トスルモ報告中互ニ矛盾セルモノ少ナカラス或ハ同地方ヲ以テ牧場ヲ好適ノ地ナリト主張スルモノアル一方ニ於テ乾燥期ニ際シテハ牧草家畜ハ勿論農作物ノ如キ悉ク枯死スヘシト論結セルモノアリ或ハ醫學上白人労働ノ不可能ヲ説クモノアルト共ニ他方ニ於テ自己又ハ家族ノ実験ニ基キ其ノ然ラサルヲ力説セルモノアリテ結局大數觀察又ハ科學的ノ研究解剖ノ方法ニ依リタル完全ナル報告ナキモノト認メサルヲ得ス之從テ本問題カ多岐多様ノ議論ヲ生スル所以ニシテ有色労働移入ノ贊否ニ関スル双方ノ論拠亦本問題ノ要諦ニ觸レ居ラサル遺憾ナキニ非ス茲ニ於テ之カ研究ニ当リテハ先ツ從來ノ經營方針カ悉ク失敗ニ終リタル原因ヲ探究シ將來ノ有効ナル方法ヲ確定スルノ目的ヲ以テ先ツ氣候地理地勢地

味礦物農産物水利衛生等各般ノ事項ニ亘リ根本的ノ調査ヲ遂ケタル後ニ非サレハ同地方開拓ニ関スル方法ノ良否ヲ論スルハ今尚早計ニ属シ抽象的ニ有色労働移入ノ可否ヲ論スルカ如キハ多少水掛論ニ終ラサルヤノ虞ナキニ非ストモ觀察セラル然レトモ多年ノ懸案トナリ居レル本問題カ再ヒ「サウス、オーストラリア」州首相ノ如キ政治上重大ナル關係ヲ有スルモノノロヨリ臆面モ無ク意見ノ發表セラレタルハ儘ニ白濠主義ニ対スル一種ノ威嚇トモ見ルヘク殊ニ之ニ賛成ノ意見ヲ有スルモノ附随シ一方ノ勢力ヲ形成シ居ル事実ハ看過スヘカラサル現象ニシテ其ノ原因利己的ノ動機ニ基クモノニ非スシテ *Barwell* 氏ノ言ヘルカ如ク吾人ハ斯ル広大ナル地域ノ所有者トシテ其ノ権利ヲ立証セサルヘカラストノ觀念ニ出テタルモノナルニ於テハ之白濠主義専横ノ結果ト認メラレ居ル濠洲独占白人労働方能ニ対スル濠洲内ノ不平ノミナラス之ニ関スル他外国人ノ反感トモ称スヘキモノヲ明白ニ反影シタルモノト云フヘシ果シテ之ヲ機會トシ白濠主義反對論カ何等カノ形式ニ於テ其ノ主張ヲ貫徹シ得ルヤ否ヤハ素ヨリ將來ノ問題ニ属シ「ヒューズ」總理大臣ノ如キ熱心有力ナル白濠主義者ニ対シ成功ノ程モ頗ル

疑ハルル次第ナルカ本件ハ濠洲ノ政治經濟上甚大ナル關係ヲ有スルヲ以テ右大要御参考ニ供シ後日ノ觀察ニ資スル事ト致候

右報告申進候 敬具

(本信御発表ノ場合ニハ後段「以上ハ *Barwell* 首相カ有色労働移入ニ関スル」以下御省略相成様致度為念申添候)

二一四 五月二十四日 在シドニー鈴木総領事ヨリ

内田外務大臣宛(電報)

クウインズランド州ニ於テ製糖工場ヘノ有色

労働者雇入禁止判決ノ件

第五六号

(五月二十五日接受)

在 *Canberra* 日本人会ヨリノ報告ニ依レハ「クイーンズランド」産業仲裁裁判所ハ濠洲内砂糖製造工場ニ供給スヘキ薪ノ薪割作業ニ付テハ白人労働者ニシテ法定ノ賃金ニテ就業スル者アル以上有色労働者ノ雇入ヲ禁ス但シ十年間以上引続キ本業ニ従事セル者ハ此ノ限ニ非スト判決セル趣ニテ目下取調中ナリ

二一五 六月二日

在シドニー鈴木総領事ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

薪割作業ニ有色労働者雇入禁止判決ヘノ対処

法二付請訓ノ件

(六月二日接受)

第六〇号

在電第五六号ニ関シ

当面ノ措置トシテ同州政府ニ対シ嚴重抗議ヲ申入レ又在「ケインズ」日本人会ヨリモ陳情セシメ置キタル所本件ノ根本的解決方法トシテハ利害關係者ヲシテ法定ニ於テ此種ノ判決ノ効力ヲ争ハシムルノ外ナシト思考セラルルニ付専門家ヲシテ充分研究ヲ遂ケシメ今後ノ参考ト致シタク其結果如何ニ依リテハ訴訟ノ得失ヲ考量ノ上更ニ上申スヘキモ右鑑定依頼ノ件何分ノ御回訓ヲ請フ費用ハ追テ報告致スヘシ尚同電ニ「同州内」トアルハ「同州南緯二十五度以北ニ在ル」ト御訂正アリタシ

二一六 六月七日

内田外務大臣ヨリ  
在シドニー鈴木総領事宛(電報)

日本人労働者排斥判決ノ対処法ニ関シ回訓

ノ件

一〇「オーストラリア」移民関係雑纂 二二五 二二六 二二七

第二七号

貴電第六〇号ニ関シ大正八年七月十五日付清水総領事報告ニ依レハ製糖業ニ有色人ノ従事スルコトヲ禁止セル判決ニ

対シ有力ナル法律家ノ意見ヲ求メタルコトアリ本件モ略ホ是ト其ノ性質ヲ同ウセル如ク思考セラルル処果シテ新ニ有力専門家ノ鑑定ヲ依頼スル価値アリヤ此点ニ関シ御再考ノ上其結果ト共ニ若シ鑑定ヲ依頼スルトセハ之ニ要スル費用御回電アリタシ

註 日本外交文書大正八年第一冊二八一文書参照

二一七 八月二十二日

在シドニー鈴木総領事ヨリ  
内田外務大臣宛

クウインズランド州ニ於ケル製糖工場ヘノ日

本人労働者雇備制限判決ニ関スル交渉往復書

簡類送付及今後ノ見通等ニ付詳報ノ件

附屬書一 五月三十一日附鈴木総領事ヨリクウインズラ

ンド州首相宛書簡写

二 六月九日附クウインズランド州首相ヨリ鈴木

総領事宛書簡写

三 六月二十八日附クウインズランド州首相ヨリ

二七一

鈴木総領事宛書簡写

四 六月十六日附クウィンズランド州産業仲裁裁

判所所長ヨリ同州首相宛書簡写

五 八月二日附ビーデン氏意見書写

機密公第一四号 (九月二十二日接受)

大正十一年八月二十二日

在シドニー

総領事 鈴木 栄作(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

「ク」州ニ於ケル有色労働制限ニ関スル件

過般「クインズランド」州産業仲裁々判所ニ於テ製糖会社ニ供給スベキ燃料タル薪ノ切り出シ、運搬等ニ関スル作業ニ付テ八十年以上引続キ雇ハレ居リタルモノ以外ノ有色労働者ハ白人労働者ニシテ規定ノ賃金ヲ以テ就業スルモノアル間ハ本業ニ従事スルヲ得ザル旨ノ判決ヲ下シタル件ニ付テハ往電第五六号ノ通りニ有之候処右判決及本件ニ関スル交渉往復法律上ノ意見書等致ニ及御送付候

御承知ノ通り「クインズランド」州ハ濠洲ニ於テ最モ有色労働者排斥熱ノ盛ナル土地柄ニシテ從ッテ日本労働者ニ対

Diction Test ノ免除ヲ得タルモノナルガ仲裁々判所ノ判決ハ即チ此ノ特權ニ制限ヲ加ヘ或ハ場合ニヨリ全ク無効ナラシムルモノニテ法理上ハ兎ニ角公平ナル常識又ハ人道ノ上ニ於テ甚ダ穩カナラザルモノト思考セラルルニ付差当リ「ケアンス」日本人会ヨリ其筋ニ対シ陳情書ヲ差出サシメ又当館ヨリ別紙ノ如キ交渉ヲ試ミアルモ從來ノ例ニ依リ要領ヲ得ルニ至ラザルハ遺憾ノ次第ニ有之候

「ク」州政府ガ從來本件ニ関シ極メテ冷淡ナル態度ニ出デ居ルハ蓋シ「ク」州ニ於ケル有色労働排斥ハ一ノ州是トモ稱スベク強チ同州現政府ガ労働党 (Australian Labour Party) 員ニ依リ主宰セラレ居ルニ原因スルニ非ラズ依リニ他黨員ヲシテ首相タラシムルモ此ノ大勢ニ拮抗スルノ困難ナルコト聯邦政府ト白濠主義ノ關係ノ如キモノアリ且ツ A・W・U ニシテ現勢力ヲ維持スル以上州政府トノ交渉ハ多クハ期待スベカラザル事情アリ況ンヤ仲裁々判決ニシテ州政府ノ權限ニ屬スルモノニ付テハ聯邦政府ノ助力ヲ望ミ難ク聯邦首相「ヒューズ」ガ過般「クインズランド」各地ニ於ケル演説口調ニ徴スルモ有色労働者ニ好感ヲ有セザルハ明カニシテ本件ハ結局法律上ノ問題トシテ争フノ一途

シテモ甚ダシキ憎惡ノ念ヲ有シ機會アル毎ニ其ノ排斥ヲ企テ最近數年間ニ於テ甘蔗ノ刈取ノ如キ最モ収入ノ多キ作業ニ付有色労働ノ使用禁止ノ目的ヲ遂ゲ又有色労働者ノ從業シ得ベキ甘蔗耕地ノ制限ヲ始メハ七十五「エーカー」後ニハ四十五「エーカー」ニ引下ゲ事実上有色労働者ノ就業ヲ不可能ナラシメタル上今回更ラニ薪割作業ニ付前記ノ如キ制限ヲ加フルニ至リタルガ之レ總テ Australian Workers Union ト稱スル白人労働団体ノ為ス処ニ外ナラズ右 A・W・U ハ全国ニ亘リ數万ノ會員ヲ有シ強固ナル基礎ト細密ナル組織トヲ有シ労働者間ニハ勿論政治上ニモ甚大ナル勢力ヲ有スルモノナルガ過去數年間ノ不況ニ依リ失業會員ノ數増加セルヲ以テ其ノ救済ヲ為スタメ及ビ平素有色労働者ニ対スル反感モ之ニ加ハリ種々ノ口実ヲ設ケテ仲裁裁判所ニ対シ我利の訴訟ヲ提起セル次第ナルガ他方ニ於テ我労働者ノ立場如何ト言フニ目下ノ処「クインズランド」州ノ北部「ケアンス」市ヲ中心トセル甘蔗栽培又ハ製糖工業地ニハ約二百内外ノ本邦労働者アリ其ノ大部分ハ二十年内外ノ永住者ニシテ此等ハ殆ソド「ク」州 Sugar Plantation Act. 1914 ニ規定セル甘蔗耕地從業者資格要件中

アルノミナルヲ以テ之レガ研究ヲ重ネタル処別紙ノ通り之レ亦抗争ノ余地ナキコト明白ト相成候

「ク」州仲裁々判所ヨリ同州首相宛書面ニ依レバ日本労働者ハ本件ノ如キ判決ノ変更ヲ起訴スルノ權利アル旨ヲ記載致シ居リ此ノ点ニ付テハ当館ニ於テモ既ニ「ケアンス」日本人会ヲシテ出訴セシムルノ是非ニ付考究シタル処右ハ法文上ノ規定ニ止マリ事實ハ之ニ反シ今日ノ形勢ニテハ其ノ目的ヲ達スルコト殆ソド不可能ナルガ如ク且ツ本件ニ関シ必要ナルハ雇主側ノ意向ナルヲ以テ其態度探聞中ノ処目下ノ如ク労働ノ供給潤沢ナルニ際シテハ日本人ノ雇入ハ左程必要ヲ感ゼザルノミナラズ会社トシテハ柔順ナル日本労働者ヲ愛好スルハ勿論ナルモ外部ニ対シ之ヲ表明シ或ハ進ンデ之レガ雇入ヲ Support スルガ如キハ白人労働者ノ極端ナル反抗ヲ招クノ虞ナキニ非ラズトテ万一「ストライキ」ノ場合ヲ懸念スルモノノ如キヲ以テ斯ル行動ニ出ヅルハ徒ラニ聲ヲ大ニスルノミニテ何等実益ナキモノト被認候將又同信中後段ニ於テ仲裁々判所ハ國際的性質ヲ有スル事項ニ付テハ聯邦又ハ州政府ノ意見ヲ考量スベシトノコトナルモ直接兩政府ヲ動かスノ至難ナルハ從來數回交渉ノ結果

ヲ見ルモ明カナルヲ以テ最後ノ手段トシテハ英本国政府ヨリ聯邦又ハ州政府ニ勸告セシムルノ外ナク当地新聞ノ「ブリスベン」通信ニ依レバ本年六月中「ク」州政府ハ英本国政府ノ勸説ニ基キ従来「バナナ」耕作従業者ニ関スル制限ヲ印度人労働者ニ対シ解禁シタル実例モ有之尤モノレト本件トハ同一視スベカラザルモ英本国ノ助言必ズシモ無効トノミ見ルベカラザル事情モ有之哉ニ被察候就テハ「ク」州在留本邦労働者ハ前述ノ如ク二百内外ニ止マリ現行移民法ノ存在スル限り其数ヲ増加スルコト決シテ無之又妻女ト同棲スルモノモ殆ンド無之ヲ以テ此ノ方面ヨリモ人口増殖ノ虞ナク自然年々減少スルノミニテ終ニハ久シカラスシテ其ノ跡ヲ絶ツベキ運命ニ在ルモノナル処彼等ハ平均五十内外ノ年齢ニ達シ數回ノ仲裁々判所ノ峻厳ナル判決ニ依リ日一日ト失業者ヲ出シ又ハ白人労働者ノ敢テセザル過激ナル仕事ニ従事スルノ止ムヲ得ザル氣ノ毒ナル苦境ニ陥リ頗ル同情スベキ境遇ニ在ルモノニ有之候間適当ノ機会モブラシク右ノ事情ヲ英本国政府ヨリテ了解セシメ置クヲ得ル甚ダ好都合ニ有之要スルニ一九一四年「ク」州 Sugar Plantation Act ニ依リ砂糖耕地従業免除証ヲ有スル儘クナシ本

the application of Australian Worker's Union.

And in this connection I desire to refer you to the correspondence which my predecessor (Mr. K. Tamaki) had with you in April of last year (1921) which includes the report of the English Secretary of this Consulate-General (Mr. E. W. Foxall), dated 4th April, 1921.

It will be clear to you upon a perusal of the Award which appears in the Queensland Government Gazette of the 27th May, 1922 (No. 190, Vol. CXVIII) that the reasons advanced for the claim for preference to the Australian Workers' Union, viz.:

"That it would check the employment of coloured aliens in cutting Firewood, which has caused discontent among Sugar Workers generally, would make more employment for members of the Australian Workers' Union who work in the Sugar Industry in the Cutting season, would provide them with work

邦労働者ニ対シ其余生ヲ送ル為メ就業上ノ過酷ナル制限ヲ緩和スルモ所謂白濠主義実行上多大ノ支障アリトモ思考セラレザル義ニ有之候

右報告旁申進候 敬具

(附屬書一)

五月三十一日附鈴木総領事ヨリクヰウイメンランド州首相宛書簡写

HIS IMPERIAL JAPANESE MAJESTY'S  
CONSULATE GENERAL.

SYDNEY, 31st May, 1922.

Sir,

I have the honour to refer you to the Award of the Court of Industrial Arbitration of Queensland (No. 114 of 1922) covering the calling of Firewood Cutting, Stacking, Carting and Loading in that portion of the State of Queensland north of the twenty-second parallel of south latitude, published in the Government Gazette of the 31st August 1921, and to the variation of such Award on

in the slack season, and thus furnish an inducement to them to make their homes in the Northern Sugar Districts, and aid in the settlement of a white population in the tropical Coastal districts of the State."—  
were but a continuation of the process of discriminating against Japanese long time residents, whose right to pursue their lawful callings in the Commonwealth was preserved to them when the Immigration Act was being passed, and which right has been further emphasised later on by the issue of certificates of exemption—certificates which the present action of the Arbitration Court renders of no value.

It becomes my duty, therefore, to add my strenuous but respectful protest against this latest Award to those which have already been made by my predecessors against former and similar encroachments upon the rights of my nationals, as I re-

gard such encroachments, not only as ultra vires, but as a violation of the intention and spirit of the Immigration Act of the Commonwealth.

I have the honour to be,

Sir,

Your obedient servant,

(Sgd.) E. SUZUKI

Consul-General.

The Honourable

The Premier of Queensland,

BRISBANE.

(附屬書II)

六月九日附シタ「クローメント」州首相ヨリ鈴木総領事宛書簡等

QUEENSLAND.

PREMIER'S DEPARTMENT,

BRISBANE, 9th June, 1922.

Sir,

Acknowledging the receipt of your letter of the 31st ultimo respecting Award No. 114 of 1922 of

the Queensland Court of Industrial Arbitration. I have the honour to inform you that I am giving its contents my consideration.

I have the honour to be,

Sir,

Your most obedient servant,

(Sgd.) EDWARD G. THEODORE.

Premier.

The Consul-General for Japan,

SYDNEY.

(附屬書III)

六月二十八日附シタ「クローメント」州首相ヨリ鈴木総領事宛書簡等

CHIEF SECRETARY'S OFFICE,

BRISBANE.

28th June, 1922.

Sir,

Adverting to your letter of the 31st ultimo, relative to a certain Award of the Court of In-

dustrial Arbitration of Queensland, I have the honour to inform you that I submitted its contents to the President of that Court, and I forward herewith a copy of his reply, together with the printed document referred to therein.

I have the honour to be,

Sir,

Your most obedient Servant,

(Signed) EDWARD G. THEODORE.

Premier.

His Imperial Japanese Majesty's Consul-General,

17 Castlereagh Street,

SYDNEY.

(附屬書IV)

六月十六日附シタ「クローメント」州産業仲裁裁判所所長ヨリ  
同州首相宛書簡等

Judge's Chambers,

Industrial Court,

Brisbane, 16th June, 1922.

Sir, I have the honour to acknowledge your letter of 9th instant. I enclose herewith a copy of the reasons for judgment of the Full Bench in reference to the Award.

It is open to any person who considers himself unduly prejudiced by an award to make application to the Court to vary the award, and any representations of the Japanese Consul would receive consideration but as at present advised it seems to me that such representations should be made in open Court.

In matters where international interests are concerned, the Court is of course prepared to give respectful attention to the representations of the Commonwealth Government or of the State Government, but is not aware that this award runs counter to the desires of either.

I have, etc.

(Sgd.) T. W. McCawley.

President.

The Hon. the Premier.

BRISBANE.

(陸軍部)

八月廿四日 閣議ノ後 陸軍部

OPINION

According to the instructions in this matter the Court of Industrial Arbitration of Queensland has, by an award restricting the employment of coloured labour in the sugar industry of Queensland, in effect discriminated against Japanese labourers resident in Queensland and formerly employed in the industry.

It is contended that, even if an award discriminating against coloured labour is within the jurisdiction which the Queensland Parliament has purported to confer upon the Court, the Parliament itself is not competent, having regard to the

limits inter se of the constitutional powers of the Commonwealth and the States, to authorize the Court to make such a discrimination.

The grounds that have been or may be suggested for this contention appear to be that State legislation which purports to authorize discrimination against coloured labour tends to interfere with the control vested by the Commonwealth Constitution in the Federal Parliament by virtue of its powers to make laws with respect to aliens (s. 51, xix), immigration (s. 51, xxvii) and the people of any race, other than the aboriginal race in any State, for whom it is deemed necessary to make special laws (s. 51, xxvi).

In support of the contention it is urged, with respect to aliens and immigration, that on the passing of the Immigration Restriction Act 1901 (Federal) the Japanese labourers who were already resident in the Commonwealth were not interfered

151).

As to the argument that may be based on the fact that the Commonwealth Constitution gives the Federal Parliament power to make laws with respect to "the people of any race," it must be borne in mind that the power of the Federal Parliament in this matter is not an exclusive power. A State Parliament may make laws discriminating against any part of its resident population, including the people of any particular race, coloured or otherwise, unless and until the Federal Parliament has by its legislation dealt with the question (cf. Quick and Garran, Commonwealth Constitution, p. 622).

In accordance with the views above expressed I am of opinion that it is within the competence of the Queensland Parliament to authorize the Court of Industrial Arbitration of Queensland to make an award restricting the employment of coloured labour in the sugar industry of Queensland.

(cf. Cunningham v. Toney Homma, 1903 A. C. 10 「ホーカトニ」 陸軍部 1114

(Signed) J. B. PEDDEN.

2nd August, 1922.

University Chambers.

二二八 十月十八日 内田外務大臣ヨリ  
在英園林大使宛

クウインズランド州ニ於ケル日本人労働者雇  
傭制限問題ニ関シ英國政府ノ注意喚起方訓令  
ノ件

附屬書 本件雇傭制限問題ノ梗概

通移機密第一七号

濠洲「クインズランド」州ニ於ケル本邦人排斥ニ関ス  
ル件

濠洲「クインズランド」州北部砂糖生産地方ニ於ケル在留  
本邦人ハ其數二百名内外ニシテ同州法律及仲裁々判所判決  
ニ依リ數年來漸次労働範圍ニ制限ヲ加ヘラレ(別紙甲号  
「クインズランド」州北部砂糖耕地ニ於ケル本邦労働者排  
斥梗概参照)最近更ニ製糖工場ニ於ケル燃料タル薪ノ切  
出、運搬等ノ労働迄モ禁止セラルルニ至リ(別紙乙号、在  
「シドニー」鈴木総領事報告機密公第一四号(註)写参照)結局

府ニ対シ人道上ノ見地ヨリ過酷ナル制限ノ緩和方ヲ勸説セ  
シムルヲ得ルニ於テハ間接ニ多少ノ効果アルヘシト被認候  
尤近時英帝國ニ於ケル自治領ト本國トノ關係上本國政府ニ  
於テ濠洲自治領ニ対シスノ如キ勸説ヲ為ス事ヲ困難トスル  
事情アルヘク其ノ勸説ヲ試ミル場合ニ於テモ内容ニ立入り  
具体的ニ自治領政府ノ行動ニ容喙スルヲ敢テセサルヘク單  
ニ大体的見地ヨリ「モーター、プレッシュア」ヲ加フル  
位ノ程度ニ止マルモノト被察候ヘ共本件ハ前叙ノ如ク此上  
濠洲当局トノ直接交渉其ノ望ナク同当局ニ対スル限り此儘  
放置スルノ外他ニ方策ナキ状態ニ在ルヲ以テ若シ適當ノ機  
會ニ於テ現住者ハ何レモ老齡ニ近ツキ今後之カ後継者ヲ有  
セサル残留者ニ過キサルノ事実ヲ指摘シ貴官ヨリ英國政府  
当局ノ注意ヲ喚起セラレ何等カ本件解決ニ資スルコトヲ得  
ハ好都合ト存候ニ付右事情御舍ノ上御裁量ニ依リ適宜御措  
置相成度此段申進候

註 別紙乙号機密公第一四号ハ前掲ニ付省略

(附屬書)

(別紙甲号)

クウインズランド州北部砂糖耕地ニ於ケル本邦労働者排斥  
一〇「オーストラリア」移民関係雑纂 二二八

本邦労働者ハ同州ニ於テ從來地歩ヲ占メ居リタル砂糖関係  
ノ業務ヨリ驅逐セラレ其ノ生計ノ途ヲ失シ悲惨ナル境遇ニ  
陥レル処右屢次ノ排斥法令ニ對シテハ從來在「シドニー」  
総領事ヲシテ「クインズランド」州政府又ハ聯邦政府ニ對  
シ屢々交渉ヲ重ネシメタルモ何等ノ効果ナク其儘推移シ来  
レルモノニシテ別紙乙号鈴木総領事報告ノ通此上濠洲自治  
領政府ニ對シ直接交渉ヲ繰返スモ解決ノ望ナク法律問題ト  
シテ利害關係者ヨリ法廷ニ於テ抗争スルノ途モ亦研究ノ結  
果其余地ナキモノノ如ク方策盡キテ殆ト行詰トナレル現状  
ニ有之候

元來濠洲ニ於ケル本邦人排斥ニ對シテハ同洲カ日英通商航  
海條約ニ加入シ居ラサル關係上單ニ友好國ノ臣民トシテ相  
當ノ待遇ヲ要求シ得ルニ止マリ何等條約上ノ權利トシテ主  
張スルノ根拠ナキヲ以テ如上ノ成行ヲ見ルハ已ムヲ得サル  
次第ナル処「クインズランド」州在留本邦人ハ二十年以上  
ノ永住者多數ヲ占メ何レモ追々老境ニ達シ從來生活上唯一  
ノ方便ト頼メル砂糖耕地ノ労働ヲ禁止セラレ轉業ノ力ナク  
生計ノ方途ヲ失ヒ頗ル同情スヘキ窮地ニ陥レル事情ニ顧ミ  
英本國政府ヨリ濠洲聯邦政府又ハ「クインズランド」州政

梗概

濠洲ノ糖業ハ一九〇三年以前ハ大部分有色人種ノ占有セシ  
所ニシテ殊ニ移民制限法實施當時ニハ本邦労働者ハ「ク  
インズランド」州北部地方ノ糖業ニ於テ動カスヘカラサル  
地歩ヲ占メ居リタリ然ルニ連邦政府ハ糖業ニ従事スル有色  
人種ヲ排斥シ白人ヲ以テ之ニ代フル目論見ヲ以テ一九〇三  
年砂糖補助金條例ヲ制定シ白人労働ノ生産ニ係ル甘蔗ニ對  
シ奨励金ヲ交付スルコトトシ該法實施ノ結果排斥ノ目的略  
ホ達セラレタリ其後一九一二年ニ至リ該法ヲ廢止シタルカ  
「クインズランド」州政府ニ於テハ之ニ代ル為一九一三年  
砂糖耕作條例ヲ制定シ書取試驗條項ニ依リ有色人種労働排  
斥ヲ為シタルカ當時残留セル本邦人ハ何レモ永住者ニ對ス  
ル免除規定ニ依リ免除證書ヲ受ケ労働ニ従事シ得ル資格ア  
リタルニ拘ハラズ州当局ハ之ヲ拒否シタルヲ以テ帝國領事  
ヨリ再三交渉ノ結果遂ニ免除證書ノ下付ヲ受ケタリ其後一  
九一九年ニ至リ濠洲ニ於テ最モ有力ナル労働組合 Aus-  
tralian Workers' Union カ砂糖耕主ヲ相手トシテ「ク  
インズランド」州労働爭議仲裁裁判所ニ提出シタル要求中  
白人労働者ニ被僱優先權ヲ与ヘ白人労働者応募者ナキ場合

ノ外有色労働者ヲ雇用スルヲ得ストスルノ主張アリ結局仲  
裁判決ノ結果

(一) 甘蔗刈取

(二)七十五英加以上ノ甘蔗畑ノ耕作(一人ニテ二以上ノ畑ヲ  
所持スル場合ハ町歩ヲ合算スルモノトス)

ニ付テハ有色人ノ雇用ヲ禁止セリ右仲裁判決ハ法規ノ性質  
ヲ有シ一般ノ効力ヲ有スルモノニシテ其結果本邦人ハ糖  
業労働中最モ利益アル甘蔗刈取ヲ禁セラレ且七十五英加以  
上ノ大畑ニ於テ一般労働ニ従事スル能ハサルニ至リ一大打  
撃ヲ蒙レリ其後更ニ一九二〇年ニ至リ前記第二ノ制限耕地  
面積ヲ四十五英加ニ縮少シ一九二一年更ニ之ヲ四十英加ニ  
制限スルノ判決アリタリ

右禁止及制限ハ戦後ニ於ケル帰還兵ノ復業問題ト関連シテ  
起レルモノニシテ之ニ対シ帝國総領事ハ州政府及連邦政府  
ニ屢交渉ヲ試ミタルモ何等満足ナル解決ヲ見ルニ至ラス  
然ルニ本年五月ニ至リ労働組合ノ要求ニ基キ「クインスラ  
ンド」州労働争議仲裁裁判所ニ於テ更ニ左ノ趣旨ノ判決ア  
リタリ

「クインスランド」州南緯二十二度以北ノ地域ニ於テ製

邦人ノ土地買収問題ニ関スル件

日本人ハ「ニューサウスウェールズ」州沿岸各所ニ於テ本  
年中八十余「エーカー」ノ土地ヲ買収セルガ驚クベシ何レ  
モ軍事上重要ノ地点ニ当リ居ル事実ヲ発見セリトノ記事一  
度当地 Evening News 紙上ニ現ハルヤ聯邦議員選挙モ  
目捷ノ間ニ迫リ殊ニ「ヒューズ」総理ノ選挙区タル North  
Sydney ニ於テハ競争激甚ヲ極メ人目ヲ集中シ居レル際  
トテ一時 Sensation ヲ惹起シ労働党紙 Daily Mail ニ  
加ハリ本問題ヲ以テ「ヒューズ」総理ノ責任ナリトシ白濁  
主義維持上看過シ難キ罪惡ナリトテ其攻撃ヲ逞ウシ連日半  
面大ノ記事ヲ掲グルニ及ビ対日感情ニ及ボスベキ影響ニ関  
シ識者ハ兎ニ角当地民衆ノ思惑如何ト憂慮罷在リタル処前  
記二紙ヲ除クノ外他ノ大新聞ハ何レモ冷然タル態度ヲ取り  
且ツ本件ハ素ト選挙場裡ニ於ケル「ヒューズ」総理反対ノ  
「プロパガンダ」ヲ目的トシタルヲ以テ Daily Mail 紙ガ  
「ヒューズ」総理ヨリ誹議ノ訴訟ヲ起サレタルヲ機トシ投  
票終了後ハ各新聞共訴訟ノ進行ヲ記載スルニ止マリ頗ル平  
靜ニ帰幸ニ一時ノ所謂 Election Scare ニ終リ一般  
ノ人々モ亦今更 Evening News 及 Daily Mail 紙ノ悪

糖工場燃料用薪ノ切出シ運搬等ノ作業ニ付白人労働者ニ  
シテ規定ノ賃銀ヲ以テ就業スル者アル限り有色労働者ヲ  
雇用スルヲ得ス但十年以上引続キ雇用セラレ居ル者ハ此  
限ニ非ス

右判決ノ結果本邦労働者ハ直ニ其影響ヲ受ケ曩ニ禁止セラ  
レタル甘蔗刈取労働等ノ外更ニ斯ノ如キ制限ヲ加ヘラレ事  
実上殆ント砂糖業ニ関スル労働ニ従事スル能ハサル現状ニ  
シテ之ニ対スル帝國総領事ノ抗議モ亦何等効果ナク未解決  
ノ儘ナリトス

二一九 十二月二十九日

在シドニー鈴木総領事ヨリ  
内田外務大臣宛

邦人ノ土地買収ニ関スル新聞記事ト之ガ聯邦

議員選挙運動ニ利用セラレタル経緯ニ付報告

ノ件

機密公第二〇号

(十二年二月十五日接受)

大正十一年十二月二十九日

在シドニー

総領事 鈴木 榮作(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

辣手段ニ呆然タルガ如キ有様ニテ幸ヒ深キ悪印象ヲ残スニ  
至ラザリシ次第ハ往電ヲ以テ其要領及報告置キタル通り  
ナルガ本件ノ発端ハ去ル十二月二日紙上ニ於テ Evening  
News 紙ガ日本「シンジケート」ノ代表者大西金次郎ハ本年  
中「ニューサウスウェールズ」州内ニ於テ総計八十六「エ  
ーカー」ノ土地ヲ買入レタル処其内訳ヲ検スル Jarvis  
Bay ノ六十五「エーカー」ヲ初メ「シドニー」附近 Bro-  
ken Bay ノ二十「エーカー」等ヨリ又小面積ナルモ港内  
目抜ノ場所タル Middle Head 或ハ Falconbridge ノ  
高所ニモ散在シ殊ニ St. Mary's ニ存在スルモノハ其  
各区道路ニ日本固有ノ名称ヲ付セラレ居レリトテ別紙切抜  
ノ如キ地図ヲ添ヘ且ツ此等ノ諸地方ハ或ハ海軍根拠地ノ所  
在地又ハ「シドニー」港ノ死命ヲ制スベキ重要ナル地点ニ  
属シ殊ニ Broken Bay ハ当地及「ニューカッスル」ノ中  
間ニ位シ大船巨舶ヲ容ルルニ便利ナリ等明白ニ夫レトハ言  
ハザルモ恰モ前記「シンジケート」ハ大西ノ名ニヨリ軍事  
上ノ計画ヲ密蔵スルカ如キ意ヲ想像セシムルガ如ク書立テ  
同一欄ニ於テ A. M. P. (A. M. Pooley) 最近 Eve-  
ning News ニ入社セリト聞ク時々同人ノ署名アル記事ヲ

掲グ)ノ名ヲ以テ日本ニ於テハ外国人ニ對シ土地ノ所有ヲ禁シ居ルニ係ハラズ日本ハ米國ニ於テ土地所有權ヲ得ントシ故ニ日米兩國間紛争ノ原因ヲ醸セリトノ記事ヲ掲ゲタルニ始マル News 紙ハ從來余リ極端ナル記事ヲ記載シタルコトナク The Sun 共ニ夕刊新聞トシテ可成リノ読者ヲ有シ居ル新聞ナルガ今突然右ノ如キ拳動ニ出デタルハ多少意外トスル処ニシテ今本件記事ヲ通読スルニ日本人ノ土地買収ヲ大袈裟ニ書立テ而モ自ラ進デ矢面ニ立ツコトヲ為サズ読者ノ判断ヲ唆ルガ如キ Sensational ノ口調ヲ以テシタルハ決シテ普通一般ノ記事ト見ルベカラズシテ其裏面何カノ魂胆潜在スルニ非ズヤトハ直チニ想像セラルル処翌日ニ至リ同紙ハ殆ンド同一ノ筆法ヲ以テ其論說ニ於テ昨報日本人ノ驚クベキ土地買収ハ当地ニ於テ一ノ Sensational 惹起セリ果シテ日本人ハ何ノ目的ノ為メニ之ヲ使用セントスルカノ質問ニ對シテハ吾人ハ其心裡ニ立入り如何ナル動機ノ下ニ買収シタルヤヲ探究スルヲ敢テセズ吾人ハ単ニ事実ヲ指摘スルノミナルガ元來白濛主義ノ維持上外人ヲシテ土地ノ所有權ヲ獲得セシムルハ断ジテ安全ト云フベカラザルヲ以テ「ヒューズ」總理ハ之ニ對スル保護ヲ与

ヘザルベカラズト論ジ居リ之ニ依リテ見ルトキハ同紙ニ聯邦議員総選挙前本件ヲ悪用シ当市 North Sydney 区ニ於テ選挙ヲ争ヒ居ル「ヒューズ」總理ニ對シ難問ヲ持掛ケ其目的ニ Election Propaganda ニ外ナラザルガ如キモノ一面右社說中ニハ殊更加州ニ於ケル日本人ノ紛議ヲ云々シ又ハ我ヲ目スルニ第二ノ独逸ヲ以テスルガ如キ口吻ヲ漏シ居ル等前日ノ記事ト相俟テ日本攻撃ヲモ側ラ其目標ノ一トナセルガ如キ感ナキニ非ザリシガ之ヨリ先キ「ヒューズ」總理ハ此報ヲ耳ニスルヤ各新聞ニ對シ本件ハ全ク同總理ノ関知セザル処ナルヲ言明シタルニ對シ News 紙ハ初メテ「ヒューズ」攻撃ノ真相ヲ暴露シ日本人ノ土地買収ハ同紙報導ノ通り寸毫ノ誤報ナシ而シテ右ノ取引ハ「ヒューズ」總理ニ於テ之ヲ承知シ居リタルハ確然タル証跡アルヲ以テ此際總理ニ於テ適當ノ処置ヲ講ズルヲ要スト迫リ又一且同紙ノ報道ヲ冷笑セル Daily Mail 紙トテ今ヤ本件買収事実に認メタリ(後段記述)ト大書シ頻リニ總理攻撃ノ矢ヲ放チ最後ニ「ヒューズ」總理ノ発表シタル Statement ヲ掲載シ其直下ニ再ビ日本人ノ買収土地名ヲ書キ連ネ又總理秘書ノ談ニ依レバ聯邦稅務署ニ於テハ右売買ニ関スル書ニ驀進シ同紙ノ老獪ナル書キ振リニ反シ本紙ハ最モ露骨ニ且ツ猛烈ニ殆ンド「ヒューズ」ノ人身攻撃トモ見ラレ得ベキ記事ヲ連日掲載シ同總理ガ本件ニ関知セズトハ真赤ノ虚言ニシテ既ニ数ヶ月前ヨリ之ヲ熟知シ居レルハ疑ヲ容レザル処ニシテ白濛主義ノ本尊タル同氏ガ日本人ニ對シ此ノ如キ行為ヲ默認シ居ルハ甚ダ奇怪ノ事ト言ハザルベカラズ畢竟「ヒューズ」氏ハ日本トノ醜關係ヲ有スルニ非ラズヤヲ疑フ扨ト書キ立テ終リニ「ヒューズ」總理ノ Statement ニ對シ本件土地買収ハ聯邦政府ノ管轄ノ下ニ為サルタルモノニシテ其証憑充分ナルコト News 紙ノ露ク所トナリ狼狽ノ結果此ノ如キ白々シキ Statement ヲ発スルニ至リタルモ悉ク虚偽ヲ以テ充滿セリトテ Even Hughes can not lie his way out of Jap. land sales ナル見出ノ下ニ有ラユル形容詞ト其特徴タル黄色紙の文句トヲ以テ「ヒューズ」總理ヲ攻撃シ又最近聞ク処ニ依レバ先般來当州及「ヴィクトリア」州有志者ヨリ釀金セル三百余磅ハ同氏ノ戰時中ニ於ケル功績ニ酬ンガ為送ラレタルモノナルガ右ノ内ニハ日本人ノ釀金大部分アリトノ事ナルガ果シテ然ルヤ等全ク選挙的目的ヲ以テ俗惡ナル攻撃ヲ事トシ

類現存スルモ秘書類ノ故ヲ以テ他見ヲ許サズ等ト皮肉ノ筆法ヲ用ヒ居ル等表面ハ衆耳ニ快キ白濛主義ノ維持上一般外国人(殊ニ日本人ヲ手始メニ)ニ土地所有權ヲ停止スベシト論ズル裏面ニ於テハ狡獪ナル言ヒ回ハシヲ以テ極力「ヒューズ」總理ノ攻撃ヲ為セリ、以上ハ Evening News 紙ノ態度ナルガ之ニ反シ Daily Mail 紙ハ其ノ初メ News ノ所謂「驚クベキ買収」ニ付テハ之ヲ Nationalist Party (「ヒューズ」党首)ノ投票蒐集策ナリト見誤リ Evening News ハ日本人ノ土地買収ヲ以テ軍事上ノ底意アルモノノ如ク解シ居ルモ這ハ甚ダ馬鹿氣タル見解ト云ハザルベカラズ貿易通商上多大ノ利害關係ヲ有スル日本人ガ法律ノ規定ニ從ヒ其權利ヲ行使スルハ聊カモ不都合ニアラズ之レ全ク Nationalist ガ選挙民ヲ欺キ自党ノ勢力ヲ拡張セントノ計略ニ外ナラザルヲ以テ其術力ニ陥ルガ如キコトナキヲ要スルハ勿論 News ノ云ヘルガ如ク万一軍事上重要ノ地点ナリトスルモ国防省ハ玩具ノ如キ小銃タリトモ見落スベキモノニ非ズ要スルニ之ノ一ノ Election Scare ニ過ギザルナリト言ヘルガ如何ナル動機ニ依レルカ其翌日ヨリ急ニ其態度ヲ一変シ News 紙ト共ニ「ヒューズ」總理攻撃

Newsノ記事ヲ転載スルト共ニ Newsハ又 Mailノ「公平ナル態度」ヲ称揚シ此処数日間ニ亘リ紙面ヲ賑ハシ居タルガ終ニ「ヒューズ」総理ノ名譽回復ノ起訴ニヨリ沈黙スルノ止ムナキニ至リ其内選挙ヲモ終了スルト同時ニ全ク囂々ノ声ヲ絶ツニ至レリ

Statement :

「ヒューズ」氏ハ初メ本件ヲ重大視シ居ラザルガ如クナリシモ何分選挙前ノコトニモアリ又尤モ当地人心ニ入り易スキ白濠主義又ハ恐日病トモ関係アルヲ以テ十四日ニ至リ一ノ「ステートメント」ヲ發表シタルガ右ニ依レバ聯邦政府ハ土地買取問題ニハ直接間接何等干与スル処ナク右ハ全ク「ニューサウスウェールズ」州ノ州法ニヨリ取引セラレタルモノニシテ其内或者ハ十年前以前ニ売買セラレ居ルヲ発見セルカ聯邦政府ハ之ニ対シ何等干渉スベキ権限ナシ又此等ノ土地ハ軍事当局ニ於テハ聊カモ軍略の価値ヲ有スルモノト見ル能ハズト言明シ且ツ州政府ノ権限ニ属スル行動ニ対シ聯邦政府ノ責任呼バハリヲ為スニ至リテハ Election Propaganda モ亦極点ニ達セリト云ヒ最モ明カニ本件ノ性質ヲ説明スル処アリタリ素ト News 及 Mail 二紙ハ其

目的トスル処選挙運動ニ在リタルヲ以テ之ニ係ハラズ引続キ毒筆ヲ弄シ Mail ノ如キハ「ヒューズ」ニ対シ国賊呼バハリヲナシタル結果前記ノ如ク起訴セラルルニ至レリ他新聞中「ヘラルド」ハ最初ヨリ本件ニ付何等ノ記事ヲ掲ケズ単ニ「ヒューズ、ステートメント」ヲ發表シタルニ止マリ頗ル冷静ノ態度ヲ維持シ「テレグラフ」ハ News 紙ハ日本人ニ於テ軍事上ノ根拠地ヲ買取セリト言フモ各当局ニ付取調ノ結果ニヨレバ斯ル事実ナシ(コレハ官有地ヲ指スモノナルベク後段記述ノ通り私有地ノ売買ハ Lands Department ノ管轄以外ナリ)又外国人ニ対スル土地所有權禁止ハ容易ノ問題ニアラズ加州ニ於ケル例ニ徴スルモ明白ナル事ナルガ殊ニ日英關係上所有權問題ハ重大ナル考量ヲ要スベシト言ヒ次デ同紙記者ヨリ会見ヲ求メ来リタルニヨリ本邦ノ土地法ノ精神ヲ説明シ元来外国人ニ対シテハ土地所有權ヲ禁止シ居リタルモ先年之ヲ改正シ特殊ノ地域ヲ除クノ外相手国ト相互の基礎ノ下ニ認容スルコトナリ目下其調査中ナルヲ以テ追テ勅令ヲ以テ公表ノ上ハ該国々民ハ完全ナル土地所有權ヲ得ルニ至ルベキ旨及「シドニー」附近ニハ二三十年以前ヨリ永住者アリ中ニハ濠洲ニ帰化セ

ル者モアリ居住ノ目的ヲ以テ土地ヲ買入レ居ラズトハ限ラザルモノ之レ素ヨリ当然ノ事ニシテ少シモ怪シムニ足ラザルノミナラズ如何ニ選挙ノ際トハ言ヘ事実相違ノコトヲ針小棒大ニシ一般ノ疑念ヲ惹起スルガ如キハ甚ダ迷惑至極ノコトナルヲ以テ之ヲ闡明スルヲ要スル旨ヲ語り置キタリ然ルニ平素本件ノ如キ場合ニハ真先ニ大声疾呼スベキ筈ノ Sun 紙ノ態度ハ甚ダ意外トスル処ニシテ当州 Minister for Lands タル Wearne 氏トノ会谈ヲ掲ケタルガ其要点トスル処当州内ニ於ケル国有地ハ一噓タリトモ日本人ニ売却シタルコトナキ事及若シ日本ニシテ悪意ヲ有スルモノト假定セバ日本人ノ土地買取ヲ拒絶スルモ国防上安全ト言フベカラズ要ハ英本国ノ保護ト人口充実ニ在リ日本人ノ土地所有ハ濠洲ノ将来ニ対シ些少ノ影響ナキコト戦前独逸人ノ所有地数千噓ニ上リ居リタルモ何等不都合ヲ生ゼザリシ事實ニ徴スルモ明ナリト言フニ在リテ右ハ前日本官州立「アバトワー」縦覧ノ際同大臣ノ語ル処ト同一ナルガ当局ノ談トテ相当ノ好印象ヲ与ヘタルモノト思ハル之ニ引続キ

同紙ハ Japanese Mare's Nest ト題シ土地買入人ハ大西金次郎ナル日本人ナルガ其 Speculation ニ依リ買入レタ

ル土地ハ生憎 News 又ハ Mail 紙ノ言フガ如ク Strategic ノモノニアラズシテ同人ハ之ヲ売却スベク尽力中ナリトテ巧妙ノ筆ヲ以テ半バ嘲笑的ニ又半バ揶揄的ニ両紙ノ所言ヲ駁シタル記事ヲ掲ゲタルガ前述 Wearne 大臣ノ会見談ト相俟テ効果アリタルヲ疑ハズ畢竟右ハ此際事実ノ真相ヲ發表スルノ得策ナルヲ認メ本官ヨリ大西ニ対シ其勸説ヲ試ミントシ居リタル処恰カモ不在中ニテ面談ヲ得ザリシガ他ヨリモ同様ノ談アリタル由ニテ本人ヨリ進ミ立チテ Sun 紙ニ依頼シタル次第ニテ同紙ガ之ヲ種子ニ諸諱のノ口調ヲ以テセルハ両紙ニ対スル皮肉ナル痛撃ニシテ当地ノ人氣ニ適合シ効果アリタルヲ疑ハズ而シテ右大西金次郎ハ従来神戸兼松商会ノ当地支店ニ勤務シ居リタル者ナルガ会社ノ年齢規定ニ依リ今回退職シタル次第ニテ居住三十年ニ及ビ尚ホ余生ヲ当地ニ送ラントノ考ヲ以テ先年「アバロン」ニ其居宅ヲ買入レ本年退社後収益ノ目的ヲ以テ当地附近ニモ土地ヲ買入レタルガ其内或ルモノハ之ヲ売却シツツアル趣ナリ同人ノ所有地左ノ如シ

Sussex Inlet (Jervis Bay 非キ) 65 acres  
Torquay Point (Middle Harbour) 50R x 200R

Faulconbridge 1 1/2 acres

Greenwich 184R×300R

Avalon Beach 20 acres

右ノ内「サセックス」灣ニ在ル土地ハ海軍根拠地タル「チャービス」灣ニ近接シ居ルモ素ヨリ其湾内ニ在ルニアラズ尚ホ「チャービス」灣ハ当州内ニ在ルモ軍事必要上聯邦政府ノ管轄ニ屬シ私有ヲ許サズト聞ク  
此外当州内ニ於テ邦人ノ所有ニ係ハル土地ニシテ当館ニ知レ居ルモノヲ参考ノ為ニ挙ケレバ

O'Connell St. Sydney 兼松商店敷地及建物ニシテ面積不明

North Bridge 3 acres 井手秀一郎所有地

Sussex Inlet 58 acres 同人ハ帰化セリト聞ク

Guildford 20 acres 桑畑秀雄

等ナルガ其他避暑ノ目的ヲ以テ少量ノ土地家屋ヲ所有スルモノ数名アル趣ナリ尚 News 所載 St. Mary's ニ「日本ノ町名云々」ハ多分桑畑ノ所有ニ係ハル土地ヲ指スモノナルベク想像セラルルモ右八十年以前ニ買入レ全ク果樹又

ハ花畑トシテ居ルモノナリ

抑モ「ニューサウスウェールズ」州ニ於テハ国有地ニ関シテハ濠洲人ニ Preference ヲ与ヘ外国人ハ帰化ノ資格ヲ有スルモノニシテ規定ノ年限内ニ事実帰化スル者ニ非ザル限り完全ニ所有權又ハ賃借權ヲ獲得スル能ハズ而シテ国有地ニ関スル事項ハ当該大臣ノ管轄ニ屬シ前述 Wearne 大臣ノ言明セルガ如ク邦人ニシテ未ダ国有地ヲ獲得セルモノナキモ此等国有地ニシテ一旦濠洲人又ハ帰化人ノ私有ニ歸シタルトキハ土地省ノ管轄ヲ離レ其所有權ノ讓渡ニ付テハ内外人ノ間ニ何等ノ差別ヲ設ケズ即チ New Southwales Road Property Act ニモリ行ハントナル私有地ノ売買取引ハ当事者ノ国籍如何ヲ問ハズ一律ニ有効ナルモノニシテ前記本邦人ノ買取りタル私有土地ハ適法ノモノトシテ完全ナル所有權ヲ獲得セル次第ナレハ聯邦政府ハ之等取引ニ對シ何等ノ關係アル管轄又何等ノ權限ヲ有セザルハ頗ル明白ナルコトナリ唯土地税ニ関シテハ聯邦政府モ亦州政府同様各州所在ノ私有地ニ對シ聯邦税ヲ賦課徴収スルノ權限アリ Mail 紙ガ本件ニ関シ「ヒューズ」ト邦人土地買収トノ關係ヲ過大ニ書立テ居ル根拠ハ恐ラク課税ノ必要上ヨリ

来レル聯邦政府当地出張所ノ記録ニ依リタルモノト見ルノ外ナキモ這ハ素ヨリ所有權獲得後ニ於テ始メテ生ズベキコトニ屬シ所有權ノ許否ハ一ニ州法ノ規定ニヨラザルベカラザルナリ

要之本件ハ News 及 Mail 紙ガ聯邦議員選挙ニ際シ「ヒューズ」総理ノ其選挙区タル North Sydney ニ在リテ選挙ヲ争ヒ居ルニ乗ジ労働党ノ援助又ハ国民党ノ勢力妨害ノ為甚シキ牽強附会ノ説ヲ流布シ白濠主義ノ維持テウ名目ノ下ニ尤モ人目ニ入り易キ本邦人ノ軍事的地点買収ト云フ

ガ如キ方法ヲ以テセル一ノ選挙運動タルコト日ヲ経ルニ從ヒ益々露骨トナリ来リタル一方ニ於テ他新聞ハ頗ル冷然タル態度ニ出デ一向相手トナラザリシ為一般民衆モ亦深ク之ニ注意セザルニ至リ暴風一過選挙終了ト共ニ平穩ニ帰セリ尚「メルボルン」「ブリスベン」等ニ於テハ各新聞共本件ニ関シ何事ヲモ記載セザリキ

右新聞切抜相添ヘ及報告候 敬具

註 別紙切抜省略